

もくじ

1. 安全上のご注意	
安全上のご注意	2～3
2. 工具及び付属部品の確認	3
3. 取付・設置の事前確認	
(1) 床面・壁面の仕上げの確認及び強度確認	4
(2) 強度確認及び電源取り出し位置の確認	4
工事区分	5
4. 取付・設置手順	
(1) キャビネットの配置	6
(2) ハッチ用カウンターユニットの設置	6
(3) 壁付けカウンターユニットの取付	7
(4) カウンターとキャビネットの固定	7
(5) 家電品収納庫の配線工事	8
(6) 蒸気排出ユニット付家電品収納庫の取付	9
(7) ダンパーの取外し方法・取付方法	10
(8) 扉・引出しの調整方法	
①扉の調整方法	11
②引出し前板の調整方法（Aタイプ）	12
③引出し前板の調整方法（B・Cタイプ）	12
④引出し前板の調整方法（D・Eタイプ）	13
⑤引出し前板の調整方法（ロック機構付タイプ）	14
⑥ロック機構解除方法	15
⑦引出しの取外し方法（A・B・Cタイプ）	16
⑧引出しの取付け方法（A・B・Cタイプ）	16
⑨引出しの取外し方法（D・Eタイプ）	17
⑩引出しの取付け方法（D・Eタイプ）	17
⑪引出し前板の取外しと取付け方法（D・Eタイプ）	17
⑫引出し前板と引出しの固定	18
(9) コーナー用カウンターユニットとワークトップ間のシール	18
5. 仕上げ	
(1) 清掃	18
6. 点検	
(1) 安全点検	18
7. 完了後の処置	
(1) 商品の養生について	19
(2) 取扱説明書の保管・引渡し方法	19
8. 残材処理	
(1) 梱包材その他残材の処置	19

取付・設置をされる方へのお願い

- 取付・設置をされる方の安全と使用者の安全確保のため、この取付・設置説明書をよくお読みにになり、安全で正しい設置を行ってください。
- 本説明書はカウンターユニットのものです。その他のキャビネットはそれぞれに添付する取付・設置説明書をご覧ください、正しい設置を行ってください。
- この取付・設置説明書に記載されていない方法で設置され、それが原因で故障等を生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。
- 設置完了後、各部の点検を行い、異常のないことを確かめてください。

1. 安全上のご注意

- 取付・設置の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく設置してください。
- 表示内容を見逃して誤った設置をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。



注意

この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

- お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。



このような図記号は、製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。



このような図記号は、製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。



警告

カウンターユニットの設置は、建築側の構造を確かめて取付・設置説明書どおりに正しく行う。

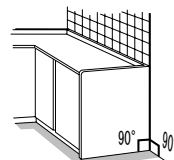


製品が倒れて、けがをするおそれがあります。

製品は水平で平滑な壁面・床面にしっかりと固定する。



製品が倒れて、けがをするおそれがあります。



キッチンに組み込まれる電気機器、換気フード等については、それぞれの取付・設置説明書および製品本体の表示事項を守り、正しく設置する。



思わぬ事故や故障の原因になることがあります。

カウンターユニットの固定は付属の取付ネジ（コーススレッドφ4.2×65）をワッシャーに通し、背面の穴より壁面に確実に固定し、指定地以外に固定しない。



製品が落ちて、けがをするおそれがあります。

製品固定ネジを空転するまで無理に締め込まない。



製品が倒れたり落下して、けがをするおそれがあります。



注意

取付・設置に使われる溶剤・その他薬品類は、それぞれの注意表示にしたがって、正しく使う。

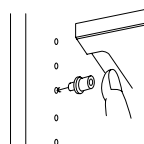


誤った使い方をすると、人体に影響が出たり、仕様部材の損傷や劣化の原因となります。

棚板を設置する時は、棚受をすきまのないように根元まで確実に差し込む。



製品が倒れて、けがをするおそれがあります。



1. 安全上のご注意（続き）

⚠ 注 意

キャビネットに乗らない。



製品が変形したり、落下してけがをするおそれがあります。

絶対に分解したり、修理・改造したりしない。



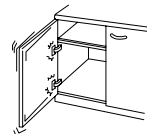
製品が倒れて、けがをするおそれがあります。

電気工事は関連する法令、規程にしたがって、必ず「有資格者」が行う。



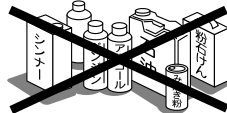
感電のおそれがあります。

取付・設置完了後は、扉のがたつきや丁番のゆるみのないことを必ず確認する。



使用中に扉が落下して、けがをするおそれがあります。

清掃時には台所用中性洗剤を使用する。

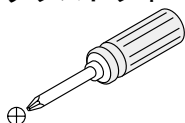


その他の洗剤およびベンジン・シンナーなどを使用すると、製品の変色、変質の原因になります。

2. 工具及び付属品の確認

<取付・設置に必要な工具>

- プラスドライバー
- 充電ドライバー（電気）



<付属部品>

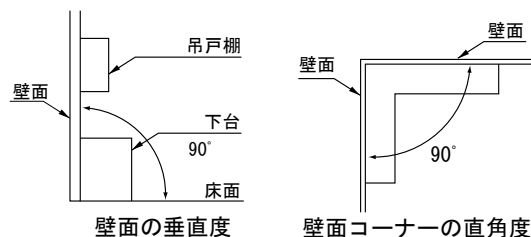
- カウンターユニットには下記の部品が梱包されています。不足品のないことをご確認ください。

付属部品	壁付け用					ハッチ用		
	下部オープン	家電品収納庫 蒸気排出ユニット	下部オープン	コーナー		家電品収納庫	コーナー	
固定木枠	—	—	—	—	—	2個	2個	2個
コーススレッド：φ4.2×65	2本	2本	2本	2本	4本	—	—	—
サラモクネジφ3.5×32	—	—	—	—	—	4本	4本	4本
コーススレッド：φ3.8×28	4本	4本	—	—	4本	4本	4本	4本
サラタッピンネジ：φ3.5×25	—	—	8本	8本	12本	—	4本	—
トラスタッピン：φ3.5×10	8本	8本	—	—	—	8本	—	8本
サラタッピンネジ：φ3.0×16	—	4本	—	4本	—	—	—	—
M4ワッシャー	6個	6個	10個	10個	20個	4個	8個	4個
化粧キャップ	6個	6個	10個	10個	20個	4個	8個	4個
棚受け	4個	—	—	—	—	4個	—	4個
棚板	1枚	—	—	—	—	1枚	—	1枚
コーナーコネクター	1セット	—	—	1セット	—	—	—	—

3. 取付・設置の事前確認

(1) 床面・壁面の仕上げの確認及び強度確認

- 製品搬入前に床面を仕上げておいてください。
- 床面に対して壁面を垂直に仕上げてください。
- 壁面コーナー部を直角に仕上げてください。
- 床面は製品の荷重に耐えられ、水平で平滑に仕上げてください。



⚠ 注 意

- 設置する床面の木クズ、ゴミは取り除く。

床面が水平でなかったり異物があると、扉の段違いを生ずるおそれがあります。

- キャビネットを設置する床下に床暖房設備のある場合は、床暖房設備を破損しないようにキャビネットを固定する。

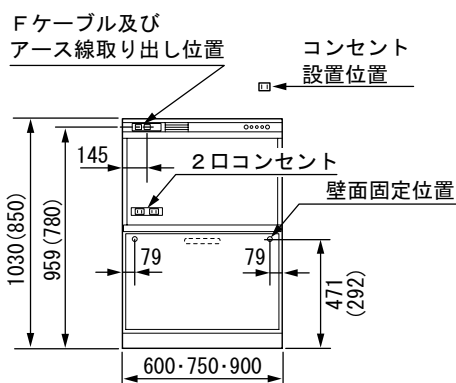
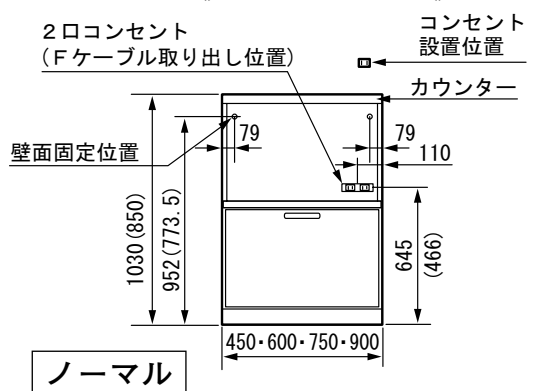
- カウンターユニットの固定は製品内部から付属の取付ネジ(コーススレッド $\phi 4.2 \times 65$) とワッシャーにより壁面に確実に固定し、化粧キャップを取付ける。

製品が倒れて、けがをするおそれがあります。

(2) 強度確認及び電源取出し位置の確認

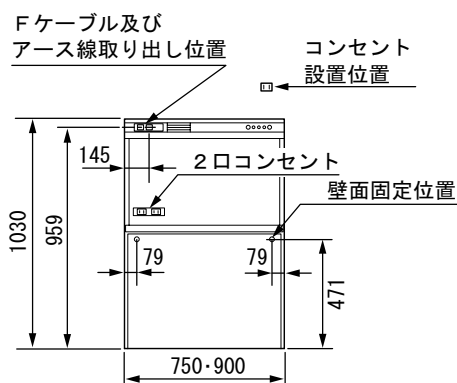
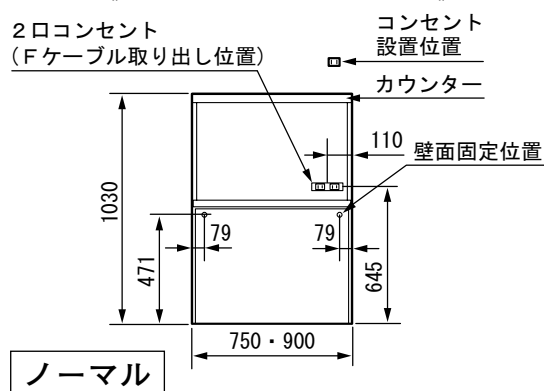
- 家電品収納庫の後壁にFケーブル(芯線 $\phi 1.6 \sim 2.0$)を下図の位置に取り出しておいてください。また、カウンターの上に家電品を置いて使用する場合には、上部にもコンセントを設置してください。

《壁付け用タイプ》



蒸気排出ユニット付

《フリースペースタイプ》



蒸気排出ユニット付

※ () 内寸法は高さ 85 cm タイプを表す。

3. 取付・設置の事前確認（続き）

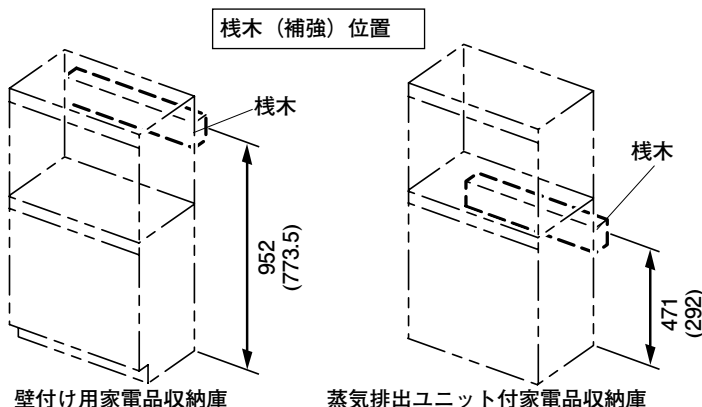
（2）強度確認及び電源取出し位置の確認（続き）

《壁付け用家電品収納庫及び蒸気排出ユニット付家電品収納庫の場合》

- 製品取付位置（右図参照）の壁面には固定できる補強が入っていることを確認してください。

※詳しくは取付・設置図を参照下さい。

※（ ）内寸法は高さ 85 cm タイプを表す。



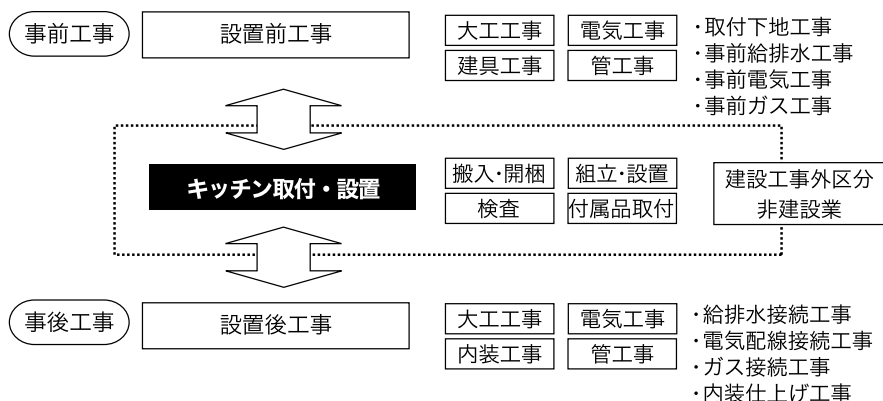
工事区分

⚠ 警告

- ◎ 本説明書は、システムキッチンの本体取付・設置と関連工事（建設工事）である大工工事、電気工事、ガス配管工事、管工事（給排水）、建具工事などと区別して説明しています。
建設工事は関連する法令・規定に従って、法的有資格者による工事が必要になります。
流通業者様（販売店様など）からの発注で下請けとして「本体の取付・設置」を行う場合は、建設工事部分と「システムキッチン本体取付・設置」を区別して行ってください。



■システムキッチンの取付・設置とユニット工事区分



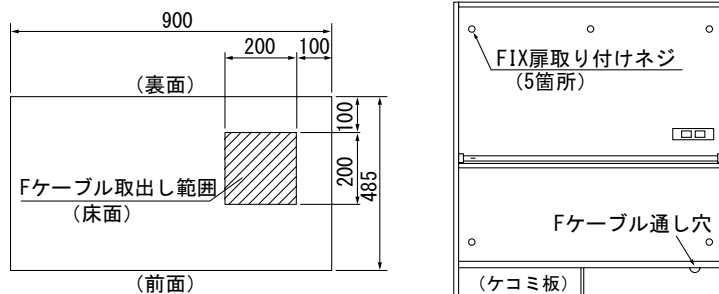
4. 取付・設置手順

(1) キャビネットの配置

- ① 設置する床面の木くず、ゴミを取り除いてからキャビネットを並べます。
壁面コーナー部にコーナー用カウンターユニットが有る場合は、コーナー用カウンターユニットを初めに並べてください。
- ② 水平器を使用してキャビネットの水平が出ているか確認してください。
水平が出ていない場合はキャビネットと床の間に付属のスペーサー等を入れて水平を出します。

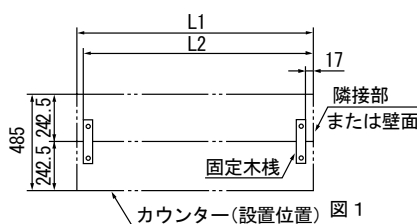
《ハッチ用家電品収納庫の場合》

- 家電品収納庫下の床面より、Fケーブルを下図の位置に1m 立ち上げておいてください。
- Fケーブルを裏面ケコミ板のFケーブル通し穴よりキャビネット外に引き出しておいてください。



(2) ハッチ用カウンターユニットの設置

- ① 付属の固定木棧を右図に示す床面の位置に付属のサラモクネジ (φ 3.5 × 32) で固定してください。製品の幅によって位置が異なりますので、表を参照して位置出ししてください。

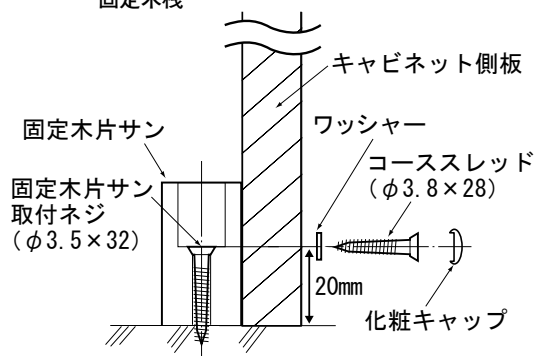
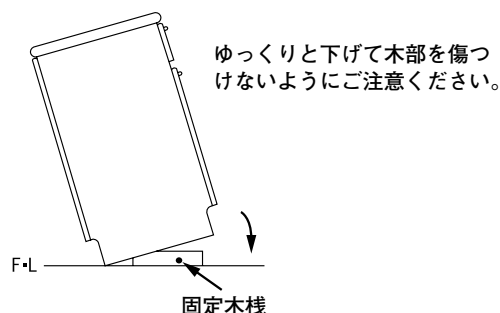


- ② 製品を同図の設置位置に設置してください。
(固定木棧を製品のケコミ部分に収めるような感じで設置します。)

- ③ キャビネット側面より固定木棧に向ってネジ固定してください。

- ④ キャビネットどうしの連結
キャビネットの側板に下穴2ヶ所 (下図参照) をあけ、キャビネット連結ネジ (コーススレッドφ 3.8 × 28) にワッシャーを通して隣のキャビネットと連結してください。
固定後ワッシャーに化粧キャップを取付けてください。

- ⑤ 別売りのサイドパネル TSPKU(H) -495 (別売品) を取付ける場合はキャビネット内部より取付ネジで固定してください。尚、③の設置の際に固定ネジのワッシャーおよび化粧キャップは使用しないでください。

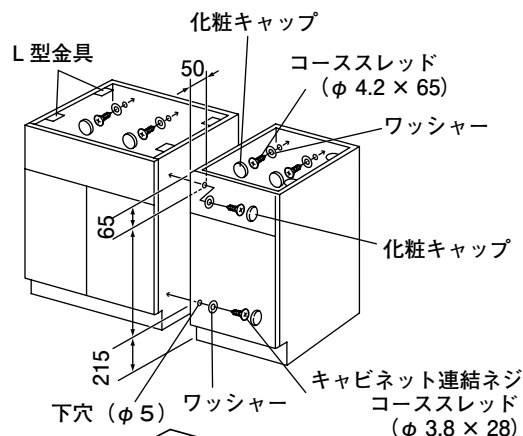


※別売のサイドパネルを取付ける場合はワッシャーと化粧キャップは不要です。

4. 取付・設置手順（続き）

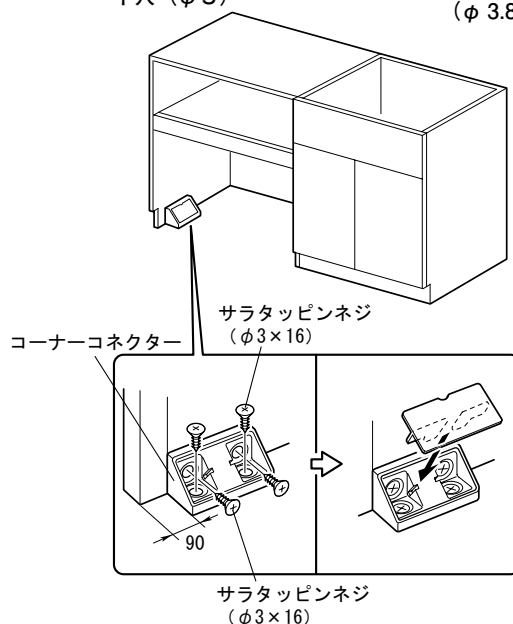
（3）壁付け用カウンターユニットの取付け

- ① キャビネットどうしの連結
キャビネットの側板に下穴3ヶ所（右図参照）をあけ、キャビネット連結ネジ（コーススレッドφ3.8×28）にワッシャーを通して隣のキャビネットと連結してください。
- ② キャビネット背面の固定穴より固定ネジ（コーススレッドφ4.2×65）にワッシャーを通し壁面に固定してください。取付ネジのワッシャーに化粧キャップを取付けます。



● フリースペース付カウンターユニットの隣に壁またはキャビネットが隣接しない場合

- 1) 側板内側手前部分（ケコミ付近）を部品袋のコーナーコネクターで固定してください。
- 2) コーナーコネクターを固定したら、付属のキャップを被せてください。



⚠ 注 意

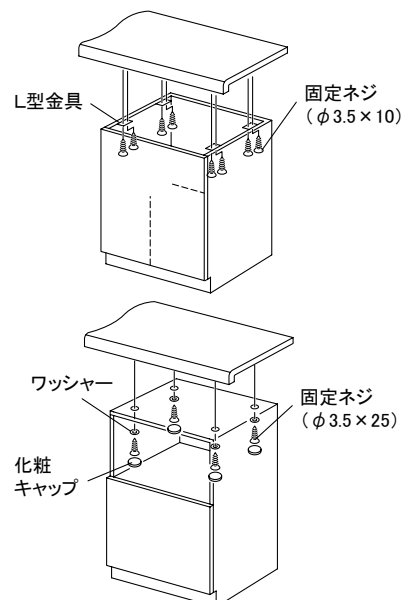
- 壁付けオープンカウンターユニットの取付は単独での設置はしない。

必ず側面を隣の壁またはキャビネットに固定してください。



（4）カウンターとキャビネットの固定

- ① キャビネットにカウンターを仮置きして、前後左右の調整を行い、キャビネットの側板に取付けられたL型金具よりカウンターに向かって固定ネジ（φ3.5×10）で固定してください。
- ② コーナーハイカウンター、家電品収納庫の場合は、M4ワッシャーとカウンター固定ネジ（φ3.5×25）により、キャビネット天板とカウンターを確実に固定し、ネジ頭には化粧キャップを取付けてください。

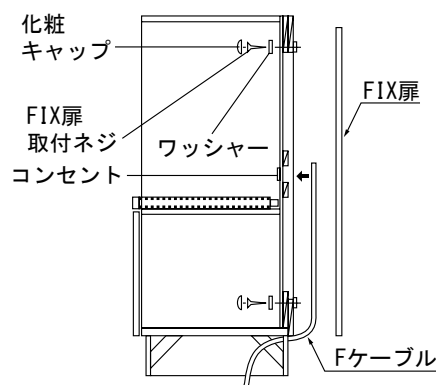


4. 取付・設置手順（続き）

（5）家電品収納庫の配線工事

①ハッチ用の場合（壁付け用は不要です）

- キャビネット内部より化粧キャップを外し、FIX 扉を固定しているネジ（5 本）を外して FIX 扉を取外します。
- ケコミ板より引き出している F ケーブルを垂直にコンセント部まで立上げておきます。
- 上記と逆の手順で FIX 扉を取付けます。



⚠ 注 意

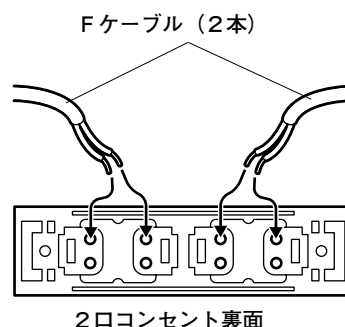
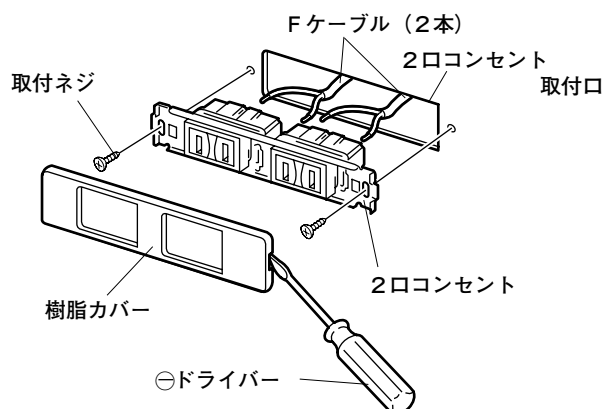
- FIX 扉の取付け・取外し作業は必ず一人が扉を固定する。

FIX 扉が脱落して、破損及びけがをするおそれがあります。



②2口コンセントとF ケーブルとの接続方法 事後工事

- キャビネットの背板についている2口コンセントの樹脂カバーを、左右の溝に⊖ドライバーを差し込み手前に倒して外します。
- 取付枠の左右の取付ネジを外し、2口コンセントを背板から取り外してください。
- 2口コンセント取付口よりF ケーブル（2本）をキャビネット内に引き込み、2口コンセントに接続してください。
 - ・F ケーブルは芯線がφ 1.6のものをお使いください。
 - ・F ケーブルの接続コードの被覆の剥く長さを、2口コンセントに付いているストリップゲージに合わせて（13mm）、被覆を剥いてください。
 - ・F ケーブル（2本）の芯線を2口コンセントに確実に差し込みます。
- 配線工事終了後、2口コンセントを①で取外したネジを使って、キャビネットの背板に固定し、樹脂カバーを取付けてください。



⚠ 注 意

- 配線工事は関連する法令、規定に従って、必ず「有資格者」が行う。
- 電源は必ず定格 15A 以上のものを単独で使用する。

接続や固定が不完全な場合や、定格以下のものを使用すると発煙や火災の原因になります。



4. 取付・設置手順（続き）

（6）蒸気排出ユニット付家電品収納庫の取付け

①蒸気排出ユニット取付け

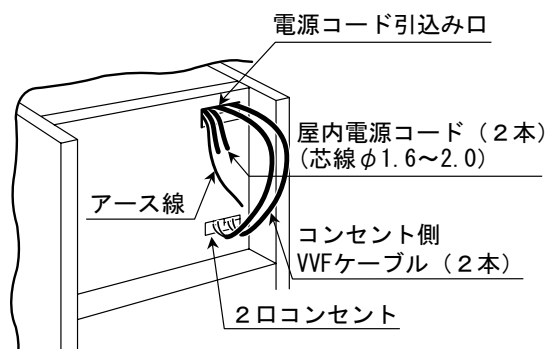
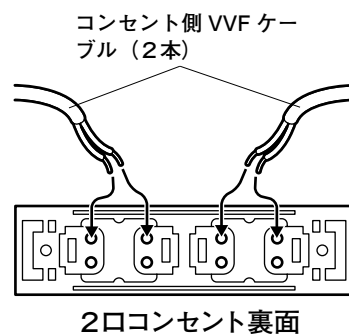
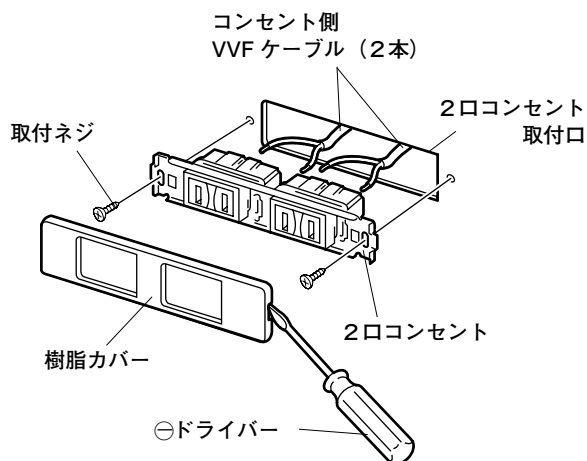
- 蒸気排出ユニットに付属の取付・設置説明書をご確認の上、キャビネットに取付けてください。

②配線工事 事後工事

- キャビネットの背板についている2口コンセントの樹脂カバーを、左右の溝に⊖ドライバーを差し込み手前に倒して外します。
- 取付枠の左右の取付ネジを外し、2口コンセントを背板から取り外してください。
- キャビネットに同梱のコンセント側 VVF ケーブル（2本）を2口コンセントに接続してください。
 - ・コンセント側 VVF ケーブルの被覆の剥く長さを、2口コンセントに付いているストリップゲージに合わせて（13mm）、被覆を剥いてください。
 - ・コンセント側 VVF ケーブル（2本）の芯線を2口コンセントに確実に差し込みます。
- 配線工事終了後、2口コンセントを上記で取外したネジを使って、キャビネットの背板に固定し、樹脂カバーを取付けてください。
- 屋内電源コード（2本）と上記で結線したコンセント側 VVF ケーブル（2本）を家電品収納庫の電源コード引込み口からキャビネット内に引込み、蒸気排出ユニットに結線してください。
- 蒸気排出ユニットの結線方法については蒸気排出ユニットに付属の取付・設置説明書をよくお読みのうえ正しく設置してください。
- 設置終了後は蒸気排出ユニットの作動を必ず確認ください。

※ コンセント及び蒸気排出ユニットに結線するための VVF ケーブルの被覆を剥く長さが異なりますのでご注意ください。

コンセント側 : 13mm
蒸気排出ユニット側 : 15mm



⚠ 注 意

- 配線工事は関連する法令、規定に従って、必ず「有資格者」が行う。
- 電源は必ず定格 15 A 以上のものを単独で使用する。
- 蒸気排出ユニットへの配線、作動確認は、蒸気排出ユニットに付属の取付・設置説明書を確認する。

接続や固定が不完全な場合や、定格以下のものを使用すると発煙や火災の原因になります。

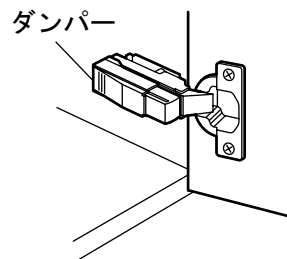


4. 取付・設置手順（続き）

（7）ダンパーの取外し方法・取付方法

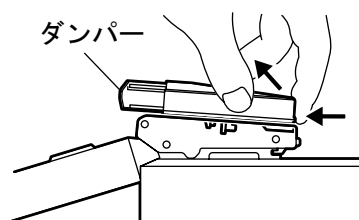
右図のようなダンパーは取付け・取外しができます。
扉の調整をする場合はダンパーを外してから扉の調整を行ってください。

各部の名称



①ダンパーの取外し方法（図－１）

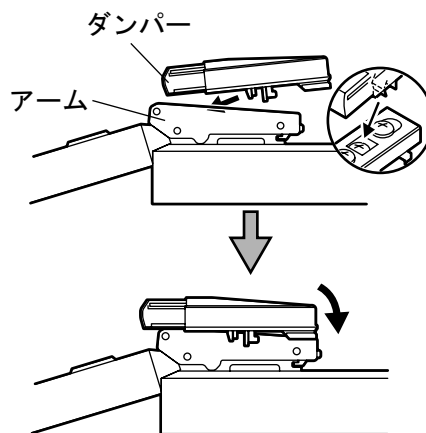
ダンパー先端部を上を持ち上げながら手前に引く。



（図－１）

②ダンパーの取付け方法（図－２）

ダンパー下部の爪をアームの長方形の穴に当て、手前側（扉側）に少し押す。上から少し押し、カチッと音がするまで押し込んでください。簡単に外れたりしないことを確認してください。



（図－２）

⚠ 注 意

- ダンパーの取外し、取付けを行う時は必ず保護手袋を使用する。

けがをするおそれがあります。



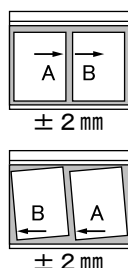
4. 取付・設置手順（続き）

（8）扉・引出しの調整方法

①扉の調整方法

- ダンパー付き（トゥルリオシリーズ）の場合は、ダンパーを外してから扉の調整を行ってください。（⑩ページ参照）

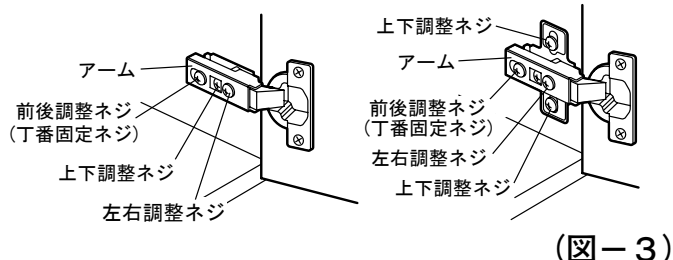
- 左右傾きの調整をする場合（図-4）
左右調整ネジを回すだけで調整が行えます。左右調整ネジを時計回りに回すと扉がB方向に動き、反時計回りに回すと扉がA方向動きます。ヒンジの左右調整ネジの高さに注意してください。左右調整ネジを右へ回しすぎるとネジが突き出てダンパーが取付けられなかったり、付けても外れやすくなります。
※調整は必ず±2mmまでとしてください。



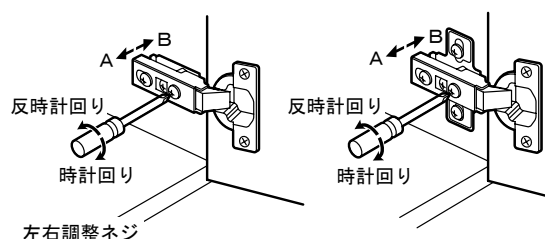
各部の名称

丁番座金形状：
ストレート形状

丁番座金形状：
十字形状

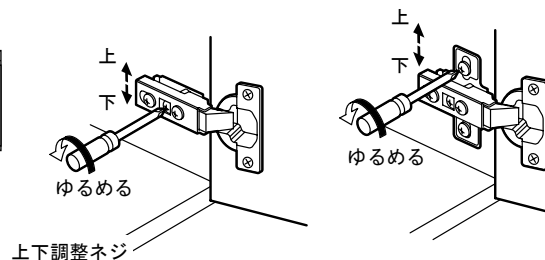
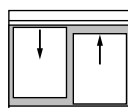


（図-3）



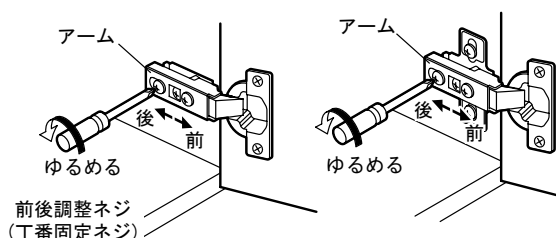
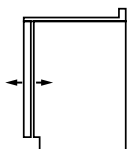
（図-4）

- 上下の調整をする場合（図-5）
上下調整ネジをゆるめます。
扉を上下に動かし扉の調整をします。
調整後はネジをしっかりと締めつけてください。
（丁番座金形状が十字形状の場合は、2ヶ所の上下調整ネジをゆるめて扉を調整してください。）



（図-5）

- 前後の調整をする場合（図-6）
前後調整ネジをゆるめます。
アームを前後に動かし扉の調整をします。
調整後はネジをしっかりと締めつけてください。



（図-6）

- ダンパー付き（トゥルリオシリーズ）の場合は、ダンパーを取付けてください。（⑩ページ参照）

⚠ 注意

- 取付・設置完了後は、扉の傾き、ガタつき、丁番のゆるみがないことを必ず確認する。

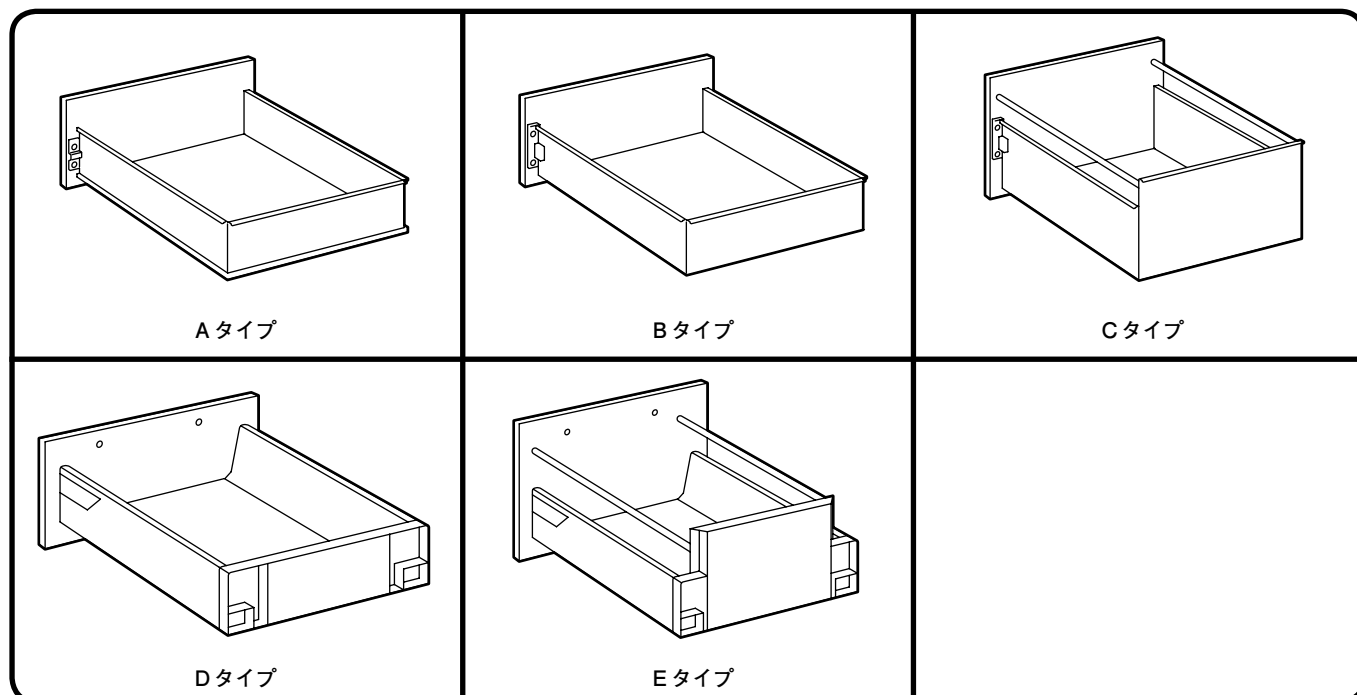
扉が落下して、けがをするおそれがあります。



4. 取付・設置手順（続き）

引出し前板の調整は、各タイプの調整方法にしたがって調整を行ってください。

引出しのタイプ

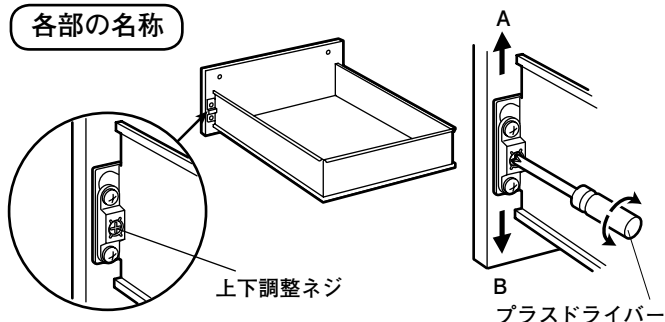


②引出し前板の調整方法（Aタイプ）

上下の調整をする場合

左右の上下調整ネジを回して調整を行います。
上下調整ネジを時計回りに回すと引出し前板がB方向に動き、反時計回りに回すと引出し前板がA方向に動きます。

各部の名称

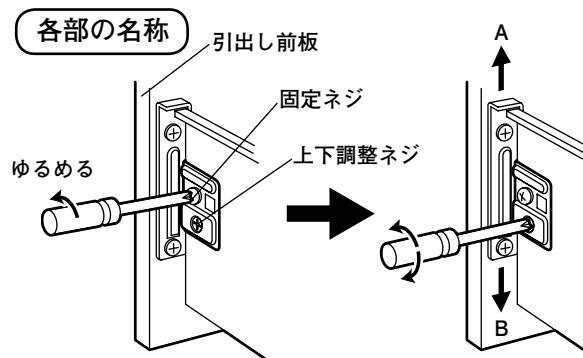


③引出し前板の調整方法 （B・Cタイプ）

上下調整方法をする場合

- 左右両方の固定ネジをゆるめます。
- 上下調整ネジを時計回りに回すと引出し前板がB方向に動き、反時計回りに回すと引出し前板がA方向に動きます。
- 調整後は固定ネジをしっかりと締め付けてください。

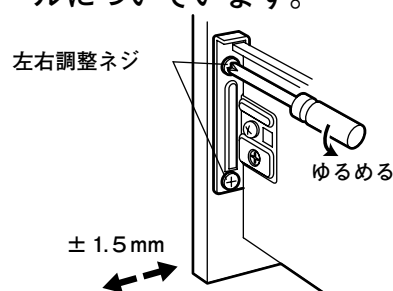
各部の名称



※上下調整ネジは左右両方の引出しレールについています。

左右調整方法をする場合

- 左右両方の左右調整ネジをゆるめ、前板左右に調整してください。
- 調整後は、左右調整ネジをしっかりと締め付けてください。



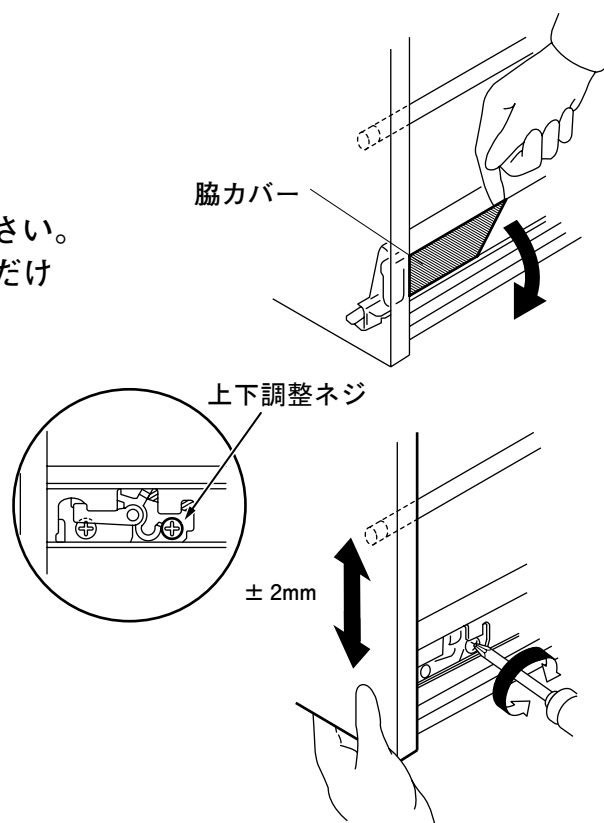
4. 取付・設置手順（続き）

④ 引出し前板の調整方法 （D・Eタイプ）

● 上下調整をする場合

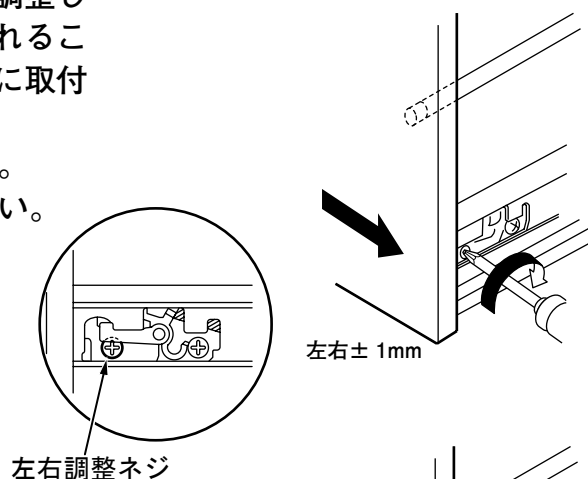
- 1) 脇カバーを取り外してください。
外す際は上から下に押すようにしてください。
- 2) プラスドライバーで上下調整ネジを回すだけで上下調整できます。

※ 上下調整ネジは一方向に回し続けると上下動（±2mm）をくり返します。



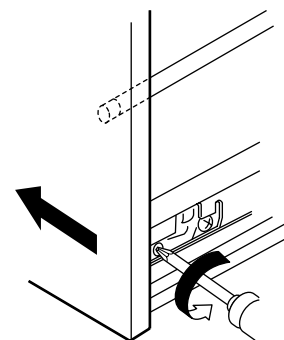
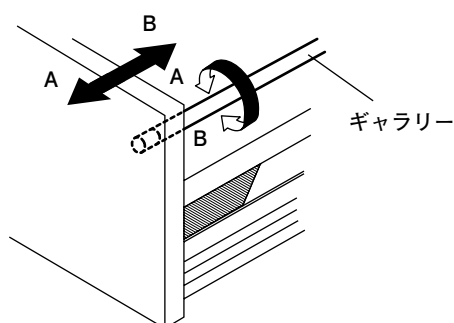
● 左右傾きの調整をする場合

- 1) 左右調整ネジを回して、前板を左右に調整します。回し過ぎると左右調整ネジが外れることがあります。外れた場合は元の位置に取付けて再度調整してください。
- 2) 必ず左右両側の調整を行ってください。
- 3) 調整後は、脇カバーを取付けてください。



● 前後の調整をする場合（Eタイプ）

ギャラリを回すと、前板を前後に調整できます。



4. 取付・設置手順（続き）

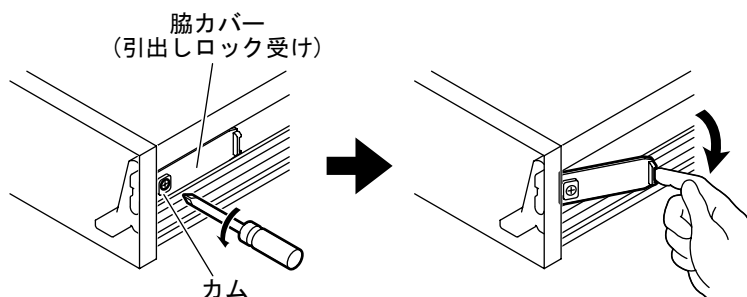
⑤引出し前板の調整方法（ロック機構付タイプ）

● 上下の調整をする場合

1) 脇カバー（引出しロック受け）を取り外してください。

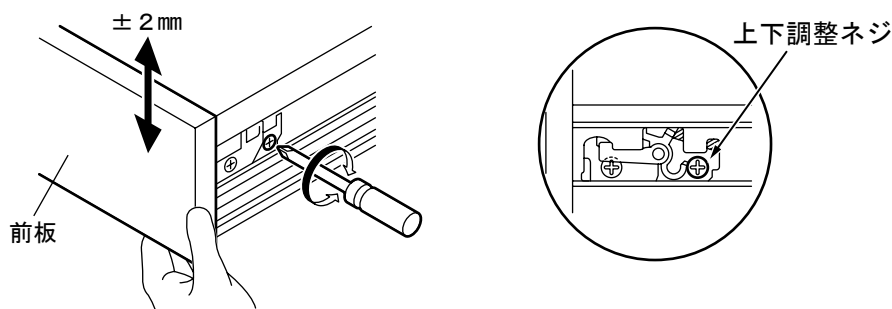
1) -1 脇カバー（引出しロック受け）のカムを反時計回りに 45° 回転させてください。

1) -2 脇カバー（引出しロック受け）を取り外してください。



● プラスドライバーで上下調整ネジを回すだけで上下調整できます。

※上下調整ネジは一方向に回し続けると上下動 ($\pm 2\text{mm}$) をくり返します。

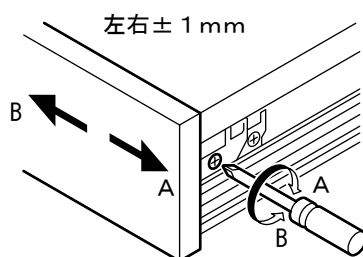


● 左右の調整をする場合

1) 左右調整ネジを回して、前板を左右に調整してください。

2) 必ず左右両側の調整を行ってください。

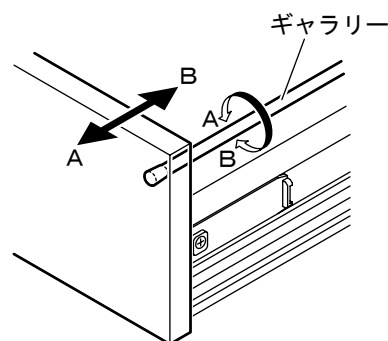
※ 回しすぎるとネジ（樹脂部材）が痛みますので注意してください。



3) 調整後、上記と逆の手順で脇カバー（引出しロック受け）を取付けてください。

● 前後の調整をする場合

1) ギャラリーを回して、前板を前後に調整してください。

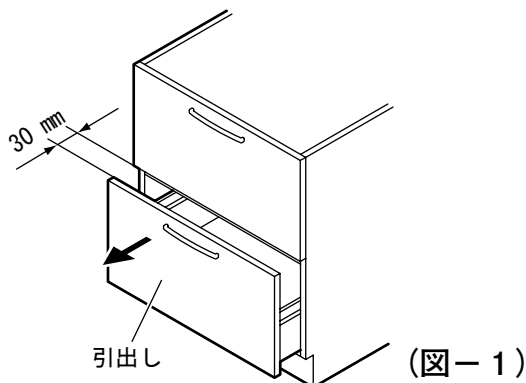


4. 取付・設置手順（続き）

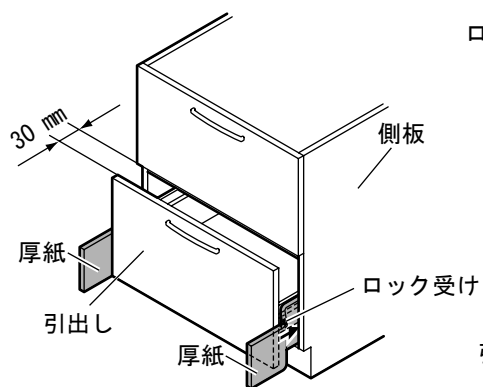
⑥ロック機構解除方法

- キャビネットが傾いた状態で設置されたり、地震でキャビネットが傾いた場合、ロックが掛り解除されませんので、下記方法で強制解除を行ってください。
(地震の揺れがおさまって静止状態になると、通常はロックが自動的に解除されます)

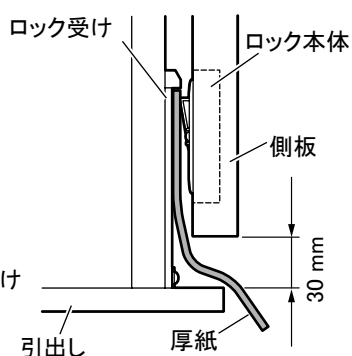
- 1) 引出しを手前に引いてください。
(30 mm程度のすき間ができます。)(図-1)



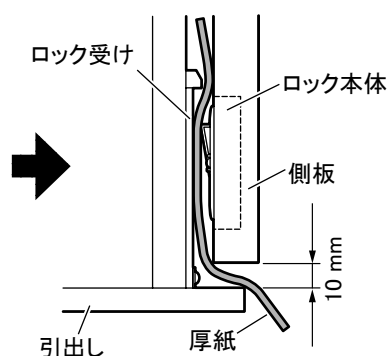
- 2) 引出しを 30mm 程度から 10 mm程度閉めながら厚紙（ダンボールなど：10cm × 30cm 程度）を左右のロック本体とロック受けの間に差込んでください。(図-2、図-3、図-4)



(図-2)

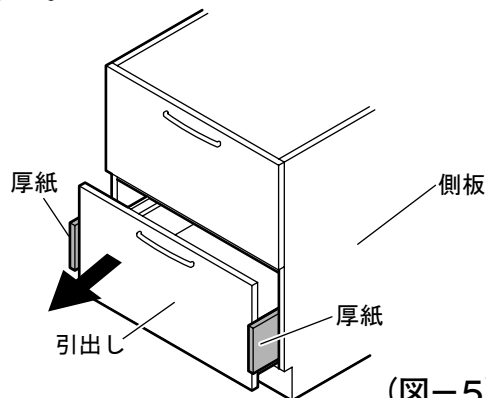


(図-3)



(図-4)

- 3) 厚紙を差込んだまま引出しを引出してください。
(図-5)



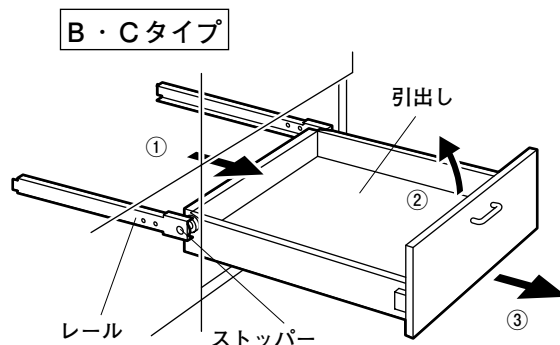
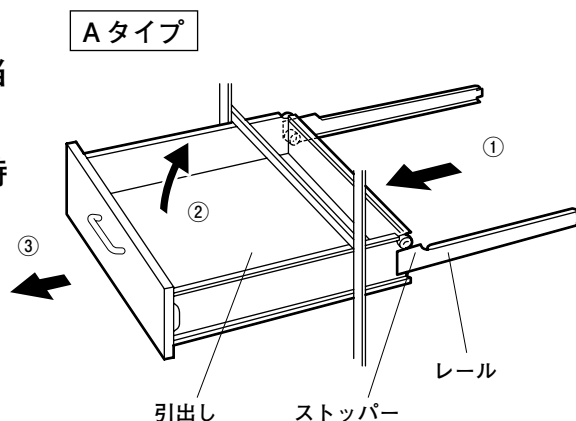
(図-5)

- 4) キャビネットの傾きを修正してから引出しを入れ直してください。

4. 取付・設置手順（続き）

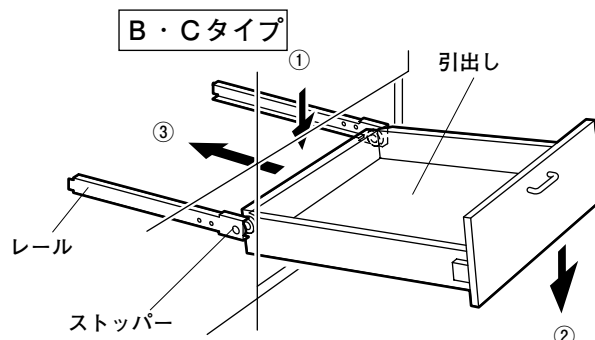
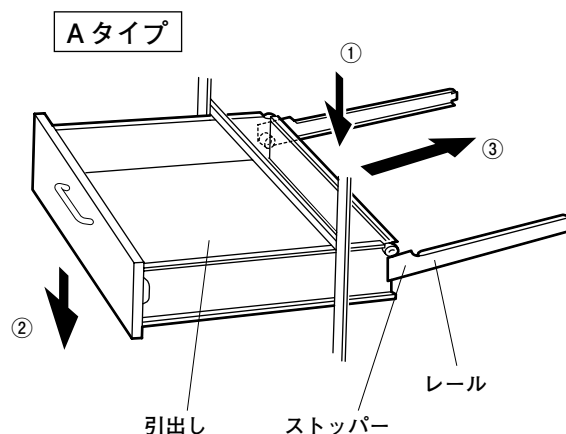
⑦引出しの取外し方法（A・B・Cタイプ）

- 引出しを引き出すとローラーがストッパーに当たります。
- ストッパーに当たりましたら、引出しを上を持ち上げます。
- 引出しを手前に引き出します。



⑧引出しの取付け方法（A・B・Cタイプ）

- 引出しを両手で持ち、ローラーを引出しレールに差し込みます。ななめ上から落とし込むようにするとうまく入ります。
- ストッパーが引出しレール側のローラーを乗り越えたら、引出しを水平にします。
- 水平に押し込みます。



⚠ 注意

- 取り外す際には引出し内の収納物をすべて出し、必ず引出しに両手を添えて取り外す。

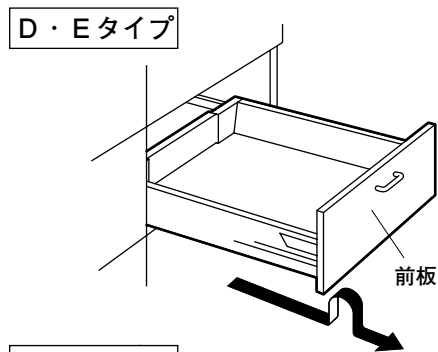
引出しや収納物が落下して、けがをするおそれがあります。



4. 取付・設置手順（続き）

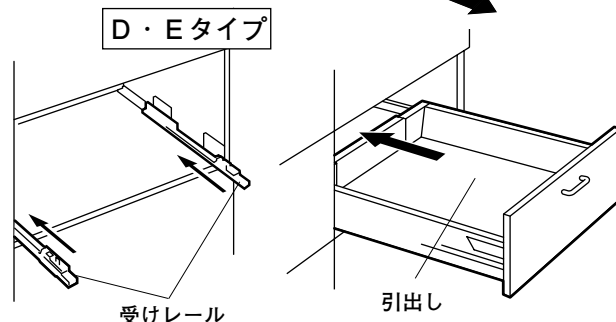
⑨引出しの取外し方法（D・Eタイプ）

- 引出しをいっぱいまで引いてください。
- 少し上に持ち上げて引いて取り外してください。



⑩引出しの取付け方法（D・Eタイプ）

- 受けレールを奥まで入れてください。
- 引出しを受けレールに乗せてください。
- カチャと音がするまで引出しを押し込んでください。



⚠ 注意

ギャラリーが外れて引出しが落下し、けがをするおそれがあります。

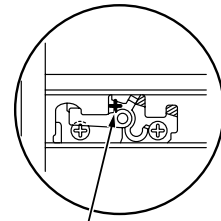
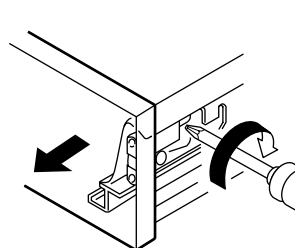
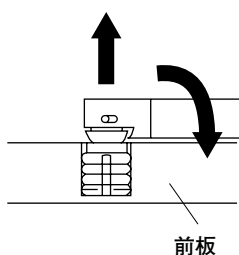
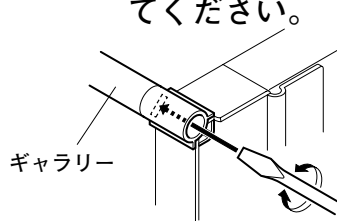
- ギャラリーを持たない。



⑪引出し前板の取外しと取付け方法（D・Eタイプ）

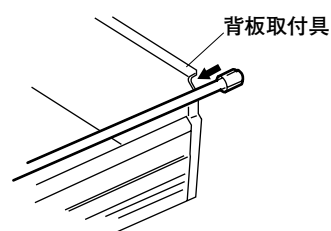
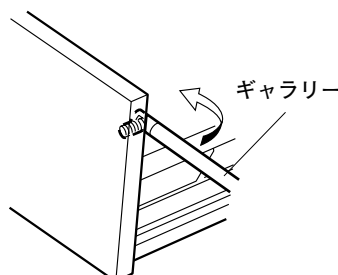
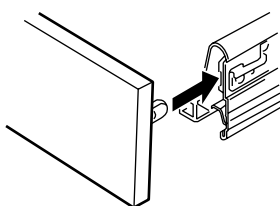
●引出し前板の取外し方

- 1) ギャラリーの背板側にマイナスドライバーを差し込み、回して取外してください。
- 2) 前板はギャラリーを倒して、ダボを抜いてください。
- 3) 前板取外しネジ穴へプラスドライバーを差し込み、矢印の方向に回して引出しを取外してください。



●引出し前板の取付け方

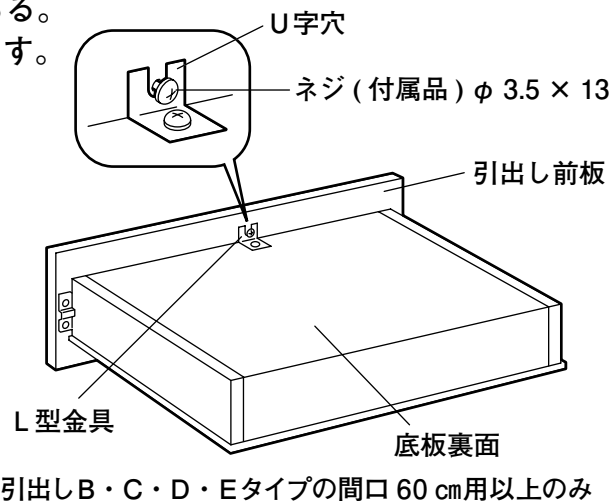
- 1) 前板取付金具を引出し側部に押し込んでください。
- 2) ギャラリー先端ダボを前板下穴に入れて、ギャラリーを起こしてください。
- 3) 背板取付具にギャラリーを押し当て、取付けてください。



4. 取付・設置手順（続き）

⑫引出し前板と引出しの固定

引出し前板の調整後に引出し底板に取付けてある。
L型金具を付属ネジにて引出し前板に固定します。



（9）コーナー用カウンターユニットとワークトップ間のシール

- ベースキャビネットのワークトップとコーナーカウンターユニットのカウンターの間は、シリコンシーラー等を使用してしっかりシールしてください。

5. 仕上げ

（1）清掃

- ちょっとした汚れは、柔らかい布などで軽く拭いてください。
- 汚れのひどいときは、中性洗剤をスポンジか柔らかい布に含ませて軽く拭いた後、水拭きしてください。水拭き後は、必ず乾いた布で水分を拭きとってください。

⚠ 注 意

- 清掃をする場合は台所中性洗剤を使用する。

その他の洗剤及びベンジン・シンナー・ガソリン・みがき粉等の溶剤を使用すると、扉の変色、変質の原因になります。



6. 点検

（1）安全点検

- ・ 取付・設置完了後、必ず各部の点検を行い、異常のないことを確かめてください。

7. 完了後の処置

- (1) 商品の養生について
 - ・ 製品および組込機器などは、お引渡しまでの間、キズや汚れがつかないように覆いをしてください。
- (2) 取扱説明書の保管・引渡し方法
 - ・ 製品および組込機器等の取扱説明書は、とりまとめて保管し、お引渡しの際、不足のないことを確認してお客様にお渡しください。

8. 残材処理

- (1) 梱包材その他残材の処置
 - ・ 不要部材を処分する場合は、必ず公的許可を受けている業者に依頼してください。

株式会社 ハウステック

東京都板橋区板橋 3-9-7 板橋センタービル 〒173-0004 Tel. 03-5248-5500 www.housetec.co.jp